

2020年度「自立援助ホーム支援助成」助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 未来へ児童自立援助ホーム 太陽
代表者・役職名 氏名 藤本 優

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

児童自立援助ホーム 太陽 施設整備

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設や里親のもとで暮らしている子ども達や自立が困難な若者を支援するべく平成26年に「NPO法人未来へ」を藤本が立ち上げ、現在では会員数9名になっております。その活動を進めていく中で岡山県には児童自立援助ホームの男子寮が無いことが分かり、自立援助ホームの必要性を感じ、NPO法人未来へで設立することになりました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

利用者、女性職員の中には、足腰が悪く、和式トイレだと排泄する体制になるのが億劫になり近隣の店舗に赴きトイレをすることがあり、訪問者の方にも不便を感じさせている状況でした。なので洋式トイレにして欲しいとの声が多々上がっており、この現状を解決したいと思い、誰もが難なくトイレを出来るような環境を作ることが事業の目的になります。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

現在和式トイレで利用者・職員含め排泄している状況で、洋式トイレを希望する声が多々上がってきている状況なので、建設会社へ改装工事の見積もりを申請した所、修繕費用として737,000円との回答でした。なので、助成金の申請をさせて頂きました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

和式トイレから洋式トイレになったことによって、利用者・職員が苦勞せずトイレで用を足せるようになり、生活水準の向上や、精神面の安定に大きな効果をもたらさせていただきました。また、利用者に置きましては、自立援助ホームで生活する満足感が上がったと言ってくれております。精神面で利用者の安定が図れたお陰でホームでのいざこざが減ったように感じます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今現在、男子の自立援助ホームなのですが、リフォームすることによって、女子も視野に入れた環境作りが出来るのではないかと考えております。岡山県はどちらかと言うと男子よりも女子の方が需要があるのですが、今のホームの環境では受け入れが出来ない状況なので受け入れられる態勢を整えて、少しでも多くの困っている若者を支援していきたいと考えております。

7. 参考資料

支援対象事業で作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

